INAX

このQRコードは
メーカー管理用です。

保証書付

コフレル スリム
（壁付）、（埋込）

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

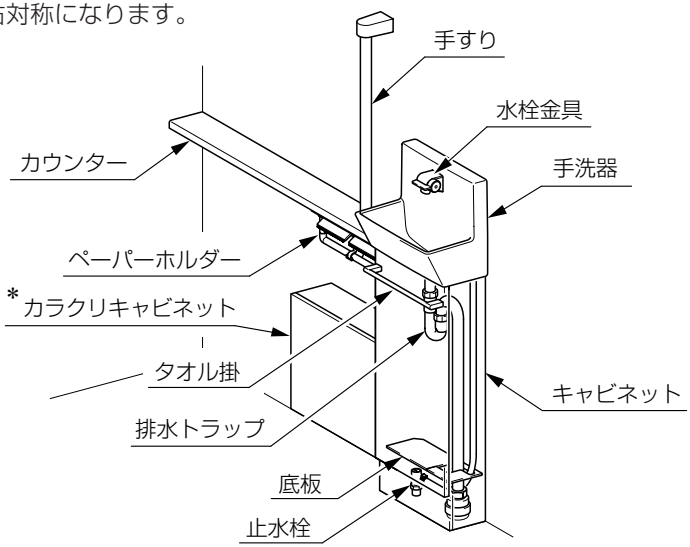
もくじ

各部の名称 …… 2
安全上のご注意 …… 3
使用時のご注意 …… 10
ご使用方法 …… 11
お手入れ方法 …… 17
長くお使いいただくために …… 19
　1. 吐水口からの水量が少なくなったと感じたら …… 19
　2. 排水が遅いと感じたら …… 22
　3. 扉の調節方法 …… 23
長期間使用しない場合 …… 24
修理を依頼される前に …… 27
アフターサービスについて …… 28
仕様 …… 29
保証書 …… 31

●各部の名称

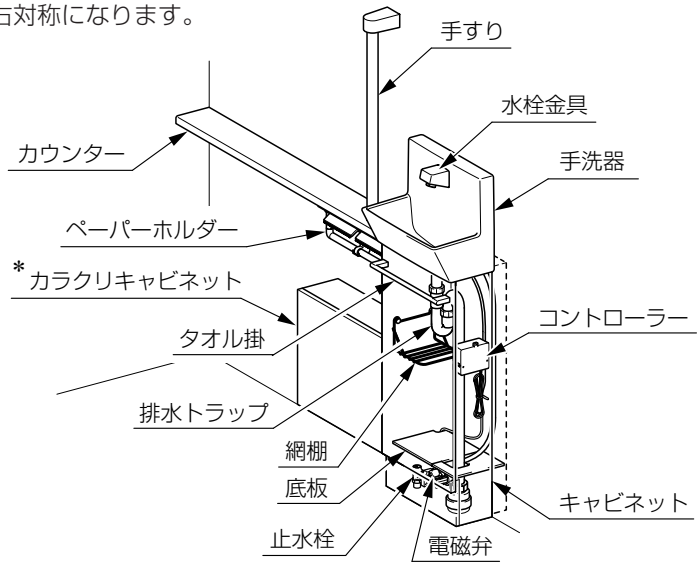
■スリム（壁付）の場合

※この図は、ハンドル水栓タイプ R 仕様の図です。
L 仕様は左右対称になります。



■スリム（埋込）の場合

※この図は、自動水栓タイプ R 仕様の図です。
L 仕様は左右対称になります。



＊カラクリキャビネットは、別紙カラクリキャビネット取扱説明書をご覧ください。

●安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止
……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

指示実行
……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

交流100V（50/60Hz）以外では使用しないでください。（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※感電・火災故障の原因となります。

禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電・火災故障の原因となります。

分解禁止

⚠警告

小さいお子さまだけでの使用は避けてください。
※ヤケドやケガをする恐れがあります。

トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウェットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因になります。

水道水および飲用可能な井戸水以外に接続しないでください。
※商品の内部腐食により、発火、ショート、感電の原因になります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※腐食・カビ発生の恐れがあります。
※発火、ショート、感電、故障の原因になります。（自動水栓および温水自動水栓の場合）

水につけたり、水を掛けないでください。
※感電、火災、故障の原因になります。

電源プラグを濡れた手でさわらないでください。（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※感電の原因になります。

雷が発生しているときは、電源プラグにさわらないでください。（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※感電の原因になります。

電源コードと他のコードを一緒に束ねないでください。（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※発火、ショート、感電の原因になります。

水栓が破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※そのまま使用すると感電、火災、故障の原因になります。

⚠警告

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※感電、火災、故障の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※電源コードが破損し、感電、火災、故障の原因になります。

禁止

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※絶縁不良により火災の原因になります。

指示実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※ショート、感電の原因になります。

指示実行

⚠注意

商品の上に火のついたタバコ等を置かないでください。
※火災の恐れがあります。

禁止

カウンターや手洗器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。
※変形や破損してケガをする恐れがあります。

禁止

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

禁止

タオル掛を無理に引っぱったり押さえつけたりしないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。

禁止

手すりにぶら下がらないでください。
※手すりや取付部の壁が破損し、ケガをする恐れがあります。

禁止

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。
※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。

禁止

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたえたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※破損やケガの恐れがあります。

禁止

棚に品物を過剰にのせたり、手をついたりしないでください。
※破損や落下によるケガの恐れがあります。
（棚の許容積載質量は、10cm×10cm(100cm2)あたり0.5Kg以下です。）

禁止

電源は必ず専用のコンセントからお取りください。
（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※感電、火災、故障の原因になります。

指示実行

⚠注意

陶器にひびが入ったままで使用しないでください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。

陶器に硬いものを落とさないでください。
※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財を濡らす原因になることがあります。

陶器に熱湯を注がないでください。
※陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。

扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のねじを締めなおしてください。
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
（扉の調節方法は23ページ参照）

扉にぶらさがったり、大きくあけすぎないでください。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

扉は静かに開閉してください。また、無理な方向に動かさないでください。
※商品が破損する恐れがあります。

タオル掛にはタオル以外のものは掛けないでください。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。

タオルは濡れたまま長時間放置しないでください。
※木が水を含み傷む恐れがあります。

⚠注意

洗剤類をキャビネット内で保管する場合は、必ず容器のキャップをしっかり閉めてください。
※洗剤の液漏れや気化により、キャビネットを侵し、腐食やヒビ割れ、変色などの原因になります。

指示実行

トイレブラシに付着した洗剤は、十分に取除いてから、ケースに収納してください。
※洗剤の液付着や気化により、金物類が腐食し破損する恐れがあります。

指示実行

キャビネット内部に水をこぼさないでください。
※床へ漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
※木が水を含み傷む恐れがあります。

禁止

酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、商品を拭かないでください。またこれらの溶剤や油類を流さないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつくと跡が残ることがあります。）

禁止

凍結が予想される場合は、水を抜いてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

木製キャビネットやカウンターはぬれたまま放置しないでください。
※木が水を含み、傷む恐れがあります。

指示実行

吐水口をふさいだ状態での使用はおやめください。
※吐水口部から水が浸入し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

禁止

感知領域内に障害物が入らないようにしてください。（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※誤作動し、予期しない事故の原因になります。

指示実行

⚠注意

直射日光の当たる場所での使用はおやめください。
※誤作動や故障などによる、予期しない事故の原因になります。

指示実行

メッキ面のハガレはそのまま放置しないでください。
※メッキ面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。

指示実行

凍結の恐れがあるときは、凍結予防の措置を行ってください。
※変形したり故障して、漏水の原因になります。

指示実行

凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
※水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となります。配管部などに保温剤を巻いてください。凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。

指示実行

定期的に上水栓の漏水やガタツキがないか確認してください。
※部品破損によりケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。また、温水自動水栓の場合は、ヤケドをする恐れがあります。

禁止

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。（自動水栓および温水自動水栓の場合）
※誤作動や故障などによる、予期しない事故の原因になります。

指示実行

●使用時のご注意

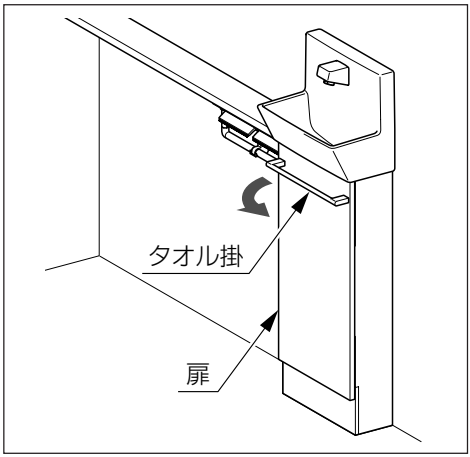
■故障を起こさないために守ってください。

長期間カウンターの上に芳香剤等、物を置いたまま放置しないでください。 ※色差しができ、品位が損なわれる可能性があります。
鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って手洗器排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。 ※排水管が詰まり排水があふれる恐れがあります。
直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。 **また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。** ※変色や変形の恐れがあります。

●ご使用方法

1. キャビネット扉の開閉

●扉の開閉はタオル掛を持って行ってください。

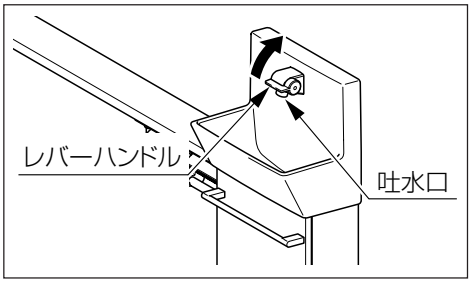


2. 水栓金具

【ハンドル水栓の場合】

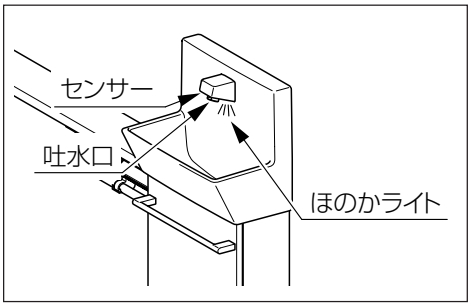
●レバーハンドルを上方向に上げると吐水します。

※流量が多すぎる場合は、P12の止水栓の操作方法を見て流量を調節してください。



【自動水栓、温水自動水栓の場合】

●センサーに手を差し出すと吐水し、ほのかライトが点灯します。手を引くと約１～２秒後に止水した後、ほのかライトが消灯します。



ポイント

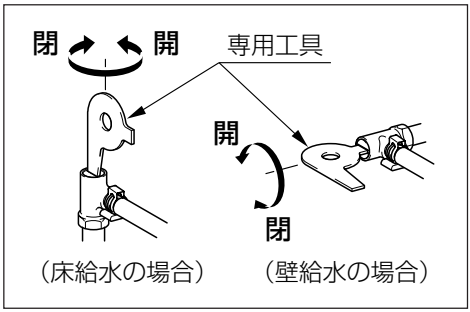
●1分間吐水が続くと自動的に止水します。
再び吐水させたいときは、一度手を引き、再び手を差し出します。
●センサーは、光を透過してしまうガラスなどでできたコップや花瓶などを感知できません。
●感知物の色や形によっては感知しにくいことがあります。

3. 止水栓の操作方法

※**ハンドル水栓の場合は、**設置時にあらかじめ水量調節がしてあります。吐水流量を変更したい場合はキャビネット扉を開き専用工具（キャビネット内側板に取り付けてあります）を使用して止水栓を調節してください。（止水栓は底板の下にあります）

※**自動水栓、温水自動水栓の場合は、**止水栓ソケット部に定流量弁が入っていますので、止水栓を一定以上開いても吐水流量は変わりません。

※使用上限流量は 4L/min です。使用上限流量以上で使用されますと、排水トラップ内の水が破封する恐れがあります。



凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。当製品には水抜き機構はありませんので、凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

4. 網棚の使用方法（埋込キャビネットの場合）

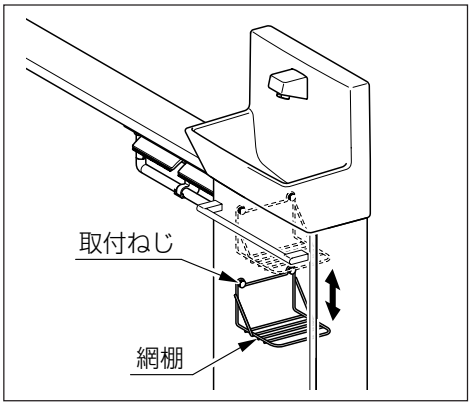
キャビネット内の網棚は、収納するものに合わせて２段階の高さに取り付けられます。

※温水自動水栓タイプの場合は動かすことはできません。

（1）取付ねじをゆるめて、網棚を取り外します。

（2）収納するものに合わせて、取付ねじを付け直し、網棚を固定します。

※網棚には5Kg以上のものを置かないでください。

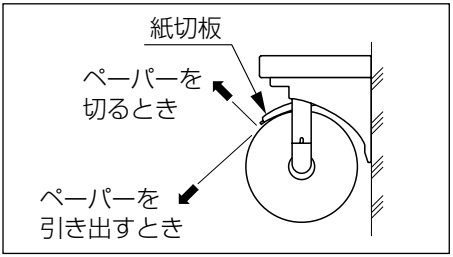


5. ペーパーホルダー

●ペーパーの切り方

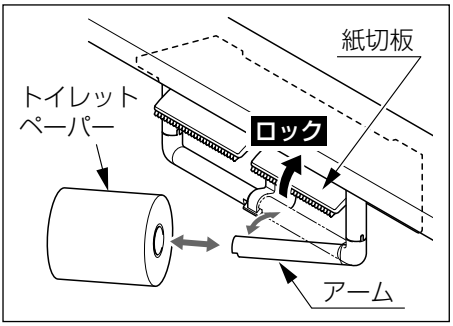
ペーパーをひっぱり出すときは、斜め下方向へ引き、切るときは、カッターの先端にペーパーの端をひっかけて、ゆっくり斜め上に引いてください。

※ペーパーを上向きに強くカットしないでください。紙切板が上に持ち上がりロックされます。



●トイレットペーパーの交換方法

（1）紙切板を上げてロックさせます。
（2）アームを引き出します。
（3）トイレットペーパーをアームに取り付けます。
（4）アームを本体に戻してセットします。
（5）紙切板を下げます。

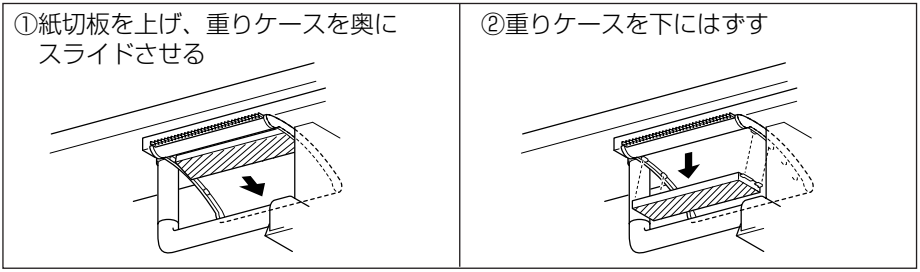


6. 重りケースの着脱方法

このペーパーホルダーは片手で紙を切れるように紙切板で紙を加圧しています。ご使用になる紙の質によっては、紙がひっかかって切りづらい等の不便が発生することがありますが、紙切板の裏に設置された「重りケース」で調節することができます。

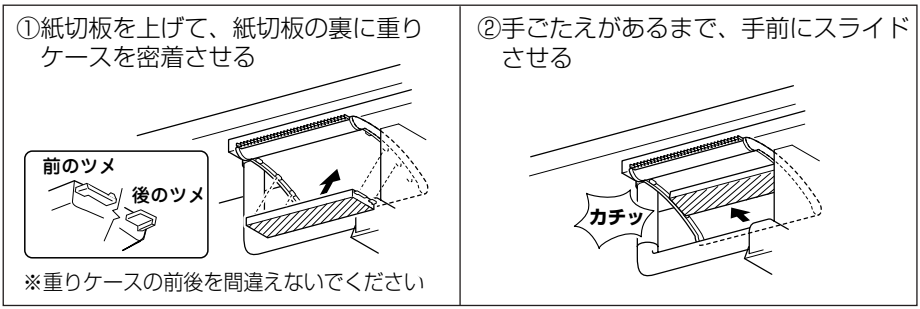
（1）重りケースのはずし方

紙切板を上に上げて、重りケースを奥にスライドさせてはずします。



（2）重りケースのつけ方

紙切板を上げて裏に重りケースをぴったりつけ、手前にスライドして取り付けます。このときカチッと手ごたえがあるまでスライドさせてください。
※取付けが不完全だと使用中に重りケースが脱落する可能性があります。



注）重りケースの装着位置は3段階で調整できます。
　　上のイラストは中央の位置に重りケースを取付けた例です。
例）ペーパーがちぎれて引き出しにくいときは、重りケースを奥に取り付けます。

市販のロールペーパーの中には切れにくいものもありますのでご了承ください。
ロールペーパーはお住まいの地域によって多種多様にありますので、いくつかの種類をお試しの上、切れやすいものを選択してお使いください。

使用可能なロールペーパーのサイズ

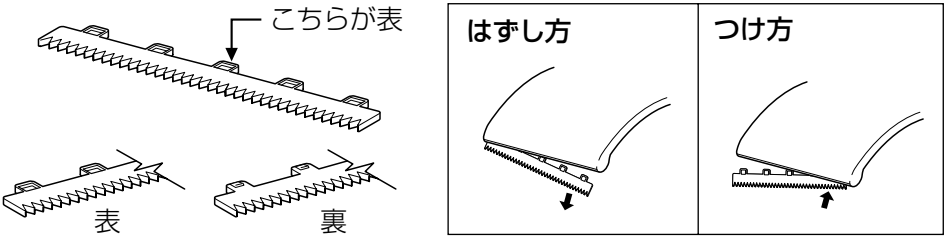
● 巾：106～118mm　　直径：120mm以下

7. カッターの交換方法

紙の切れ味が悪くなってきましたら、カッター部を交換してください。

カッター部品品番（別売）：75-1407

カッター部は手前に引っ張ると外れます。
新しいカッターを装着する場合は、表裏をよくご確認の上、手前から差し込んでください。



※カッターを差し込んだ後、軽く引っ張ってみて容易に取れないことを確認してください。

8. 芯無しペーパーの使用方法

このペーパーホルダーは、別売りの芯棒を取り付けることで、芯無しペーパーも使用することができます。

※ペーパーホルダーと同じ色を指定してください。

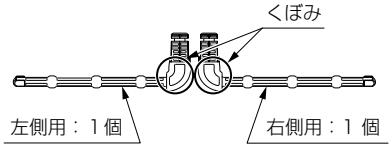
2連用芯無しペーパー用芯棒品番（別売）：A-8685

交換手順

※下図(2)～(4)は製品に向かって左側の手順を示しています。

(1) 同梱品を確認します。

※必ず芯棒の左右の確認を実施してください。

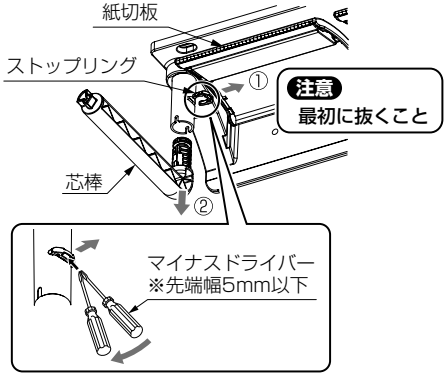


注意

2連用芯無しペーパー用芯棒は、**左側用、右側用の2種類**が同梱されています。上図のように**くぼみ**が上向きになるように並べて、**左側用と右側用を、必ず判別してから作業してください。**

ストップリング：2個
（予備品、同一形状）

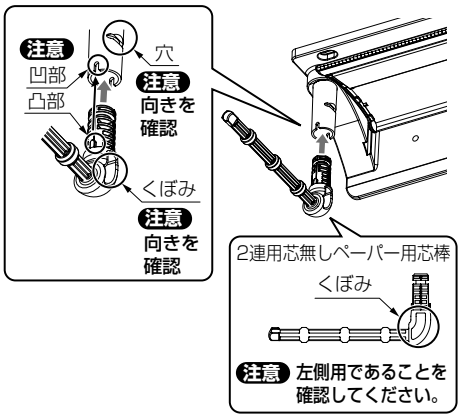
(2) 紙切板を上げて固定し、ストップリングの穴にマイナスドライバー先端を差し込み、**①最初にストップリング、②次に芯棒を抜き取ります。**



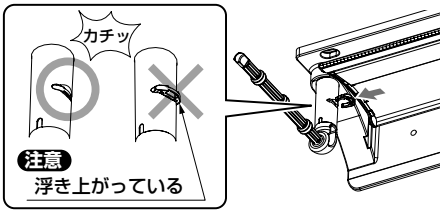
※取り外した芯棒は保管して頂ければ、再利用可能です。

(3) 2連用芯無しペーパー用芯棒を**凸部**と**凹部**を位置合せして挿入します。

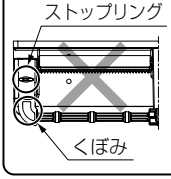
※くぼみと穴の向きが内側であること。



(4) ストップリングを手ごたえがあるまで挿入して、芯棒を紙巻器に戻します。



[交換を間違えた場合]
（左側）



- **ストップリング**と**くぼみ**が前面にある。
- **くぼみ**が前面にある。
- **ストップリング**が前面にある。
- **ストップリング**が押し込みきれない。

いずれかの場合は、手順が間違っていますので、もう一度**(3)**からやり直してください。

以上**(1)**～**(4)**を、もう片方についても実施してください。

⚠注意

アームに荷重をかけないでください。（2連用芯無しペーパー用芯棒も同様です。）
※アームが破損する恐れがあります。

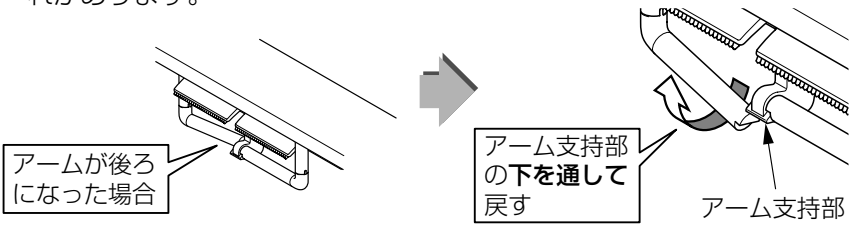
禁止

アームは交換の時以外は必ず本体に戻してください。（2連用芯無しペーパー用芯棒も同様です。）
※アームにぶつかってケガをする恐れがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

指示実行

アームが後ろになった場合は、アームは本体のアーム支持部の下を通して戻してください。（2連用芯無しペーパー用芯棒も同様です。）
※アームを無理に本体のアーム支持部の上を通すとアームの破損の恐れがあります。

指示実行



●別売品

品　　名	品　番	入り数	材　　質
2連用芯無しペーパー用芯棒	A-8685	1	ポリアセタール
カッター	75-1407	1	オレフィンエラストマー

●お手入れ方法　日ごろのお手入れ

手洗器やキャビネットは手入れをせず放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく部品によっては使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

●キャビネット・カウンター

●汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあとすぐ水ぶきをし、乾いた布で水分をふきとってください。

⚠注意

酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットやカウンターを拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

●カウンターの上にアルコール系薬品や酸性系洗剤を置かないでください。
※変質の恐れがあります。

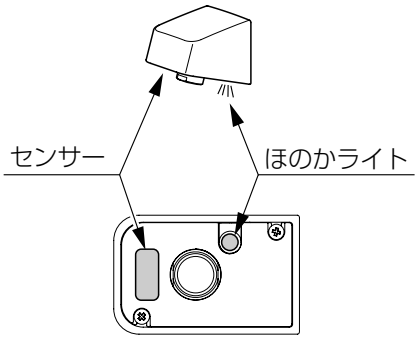
●ぬれた場合は、そのまま放置せず、すぐにふき取ってください。
※木が水を含み、ふくらんだり、表面がはがれる恐れがあります。

●水栓

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

●吐水口部、機能本体部、センサーの表面の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤を含ませた布でふきとってください。
※吐水口部、機能本体部、センサーの表面についた洗剤はよくふき取ってください。

（自動水栓・温水自動水栓の場合）



●吐水口部、機能本体部、センサーの表面を傷つけたり、侵したりする恐れのあるものは使用しないでください。

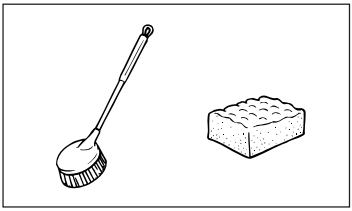
- クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、パイプ用の洗浄剤類
- ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等

※センサーの表面に汚れや傷がつくと、感知距離が短くなったり、感知しなくなる恐れがあります。

● 1 日に 1 回程度は吐水させてください。
※長期間使用しないと弁が固着し吐水しなくなる恐れがあります。

●手洗器

●手洗器のお手入れは、樹脂製のブラシやスポンジを用いて、中性洗剤と水またはぬるま湯で洗ってください。



●熱湯を手洗器に注ぎますと割れることがありますのでおやめください。
●ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤は表面が侵されますのでお使いにならないでください。
●表面の変色や変質の原因になる以下のものは使用しないでください。

- 中性洗剤以外の洗剤
- 酸、アルカリ
- 熱湯
- クレンザー、磨き粉
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 金属たわし、硬いブラシ、硬い布
- けんま剤入りの洗剤
- けんま剤入りのスポンジ

●長くお使いいただくために

1. 吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

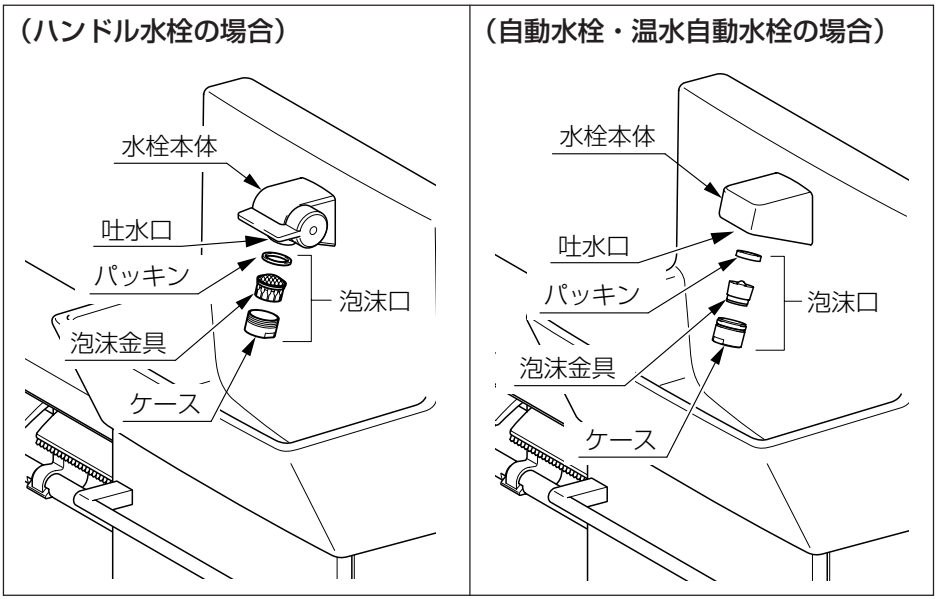
●吐水口（泡沫口）のお掃除方法

吐水口にゴミ等が詰まると吐水量が少なくなります。定期的に次の要領で掃除してください。

スパナ等の工具でケースをゆるめ、泡沫口ユニットを取り外し、水で掃除してください。

※泡沫口の取り外しは、直接工具を掛けますと、泡沫口をキズつける場合があります。必ず、布などを当てて工具を掛けてください。

※取付け時はパッキンの入れ忘れがないように注意してください。

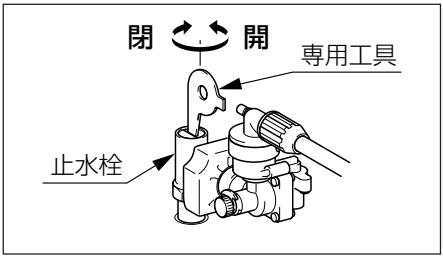


●ストレーナーのお掃除方法【自動水栓、温水自動水栓の場合】

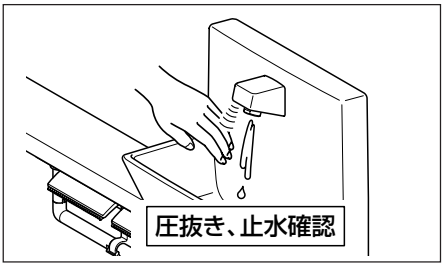
吐水量が少なくなった場合、ストレーナーのゴミ詰まりが原因として考えられます。以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。

（1）止水栓を右にいっぱい（回らなくなるまで）回して閉じます。

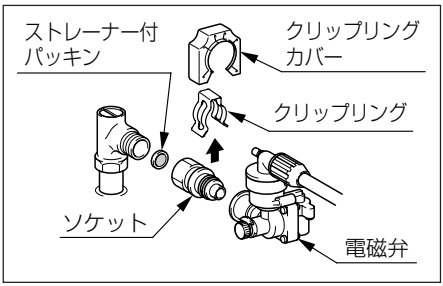
止水栓の操作
開ける：左に回す
閉める：右にいっぱい回す



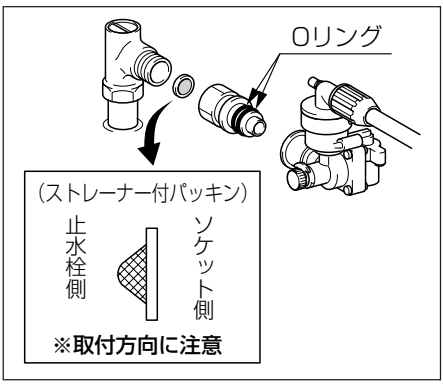
（2）手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。



（3）クリップリングカバー、クリップリング、電磁弁を外し、ソケットを外します。ストレーナー付パッキンのゴミ等を洗い流します。

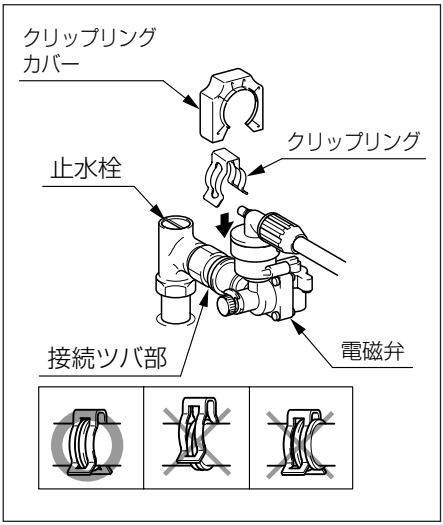


（4）ストレーナー付パッキン、ソケット、電磁弁の順に取り付けます。
※ストレーナー付パッキンは取り付けに方向性があります。ストレーナー網の凸側が止水栓を向くように取り付けてください。
※漏水の原因となりますのでOリングにキズをつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。



（5）クリップリングを電磁弁とソケットの接続部（ツバ部）にはめ込み、クリップリングカバーを取り付けます。

※漏水の原因となりますので確実に接続されていることを確認してください。



（6）ストレーナーの掃除後は止水栓を開けてください。（左にいっぱい回してください）

※止水栓は全開としてください。閉めると異音が発生する場合があります。

2. 排水が遅いと感じたら

●排水トラップのお掃除方法

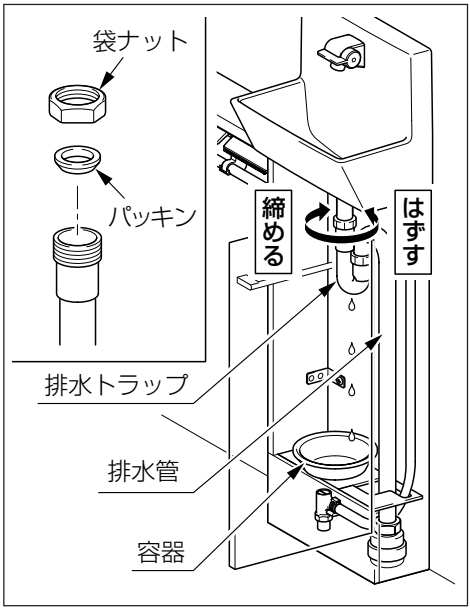
手洗器の水はけが悪くなった際は、市販の排水管洗浄剤（中性または弱アルカリ性）でお手入れしてください。
※お手入れ後は洗浄剤が中に残らないよう、水で十分洗い流してください。

⚠注意

手洗器に酸性・アルカリ性の洗剤や薬品、油類を流さないでください。
※手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などを濡らす物的損害発生の原因になります。

排水管洗浄剤を使用しても水はけが良くならない場合は、下記手順で排水トラップの掃除をしてください。

（1）キャビネット内の収納物を取り出します。
（2）排水トラップ内の水を受けるための容器を置き、排水トラップを取り外してゴミを取り除きます。
（3）排水トラップを手締めで締め付け、水を流し、排水管から水漏れがないことを確認します。



注意

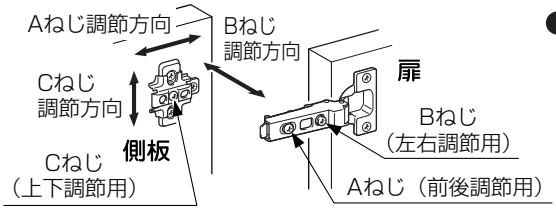
上記確認を怠ると、排水口から下水の臭いが漏れてくることがあります。
必ず水を流して確認してください。

⚠注意

排水トラップを取り付ける際は、パッキンの入れ忘れがないように注意し、しっかりと手締めしてください。
※漏水の原因になります。

3. 扉の調節方法

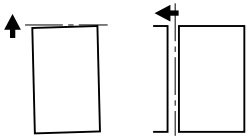
スライド蝶番の調節



お願い

- 調節する際は＋ドライバーをご用意ください。
- Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。
- 調節後はAねじ、Cねじが固く締め付けてあることを確認してください。

● 扉の先端を上げるとき
● 縦のすき間をそろえるとき
※扉の先端を下に下げるときは、下記とは逆の方向に回して調節する。

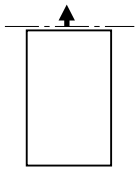


（1）上の蝶番のBねじを左へ回して調節する。または、下の蝶番のBねじを右へ回して調節する。
（2）扉を閉めて確認する。
（3）正しい位置になるまで（1）、（2）をくり返す。

● 扉と側板のすき間が上下違うとき

（1）上下の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にする。
（2）正しい位置でAねじを右へ回して締め付ける。

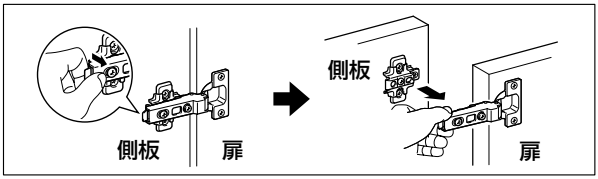
● 扉の高さが上下にずれているとき



（1）上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にする。
（2）正しい位置でCねじを右へ回して締め付ける。

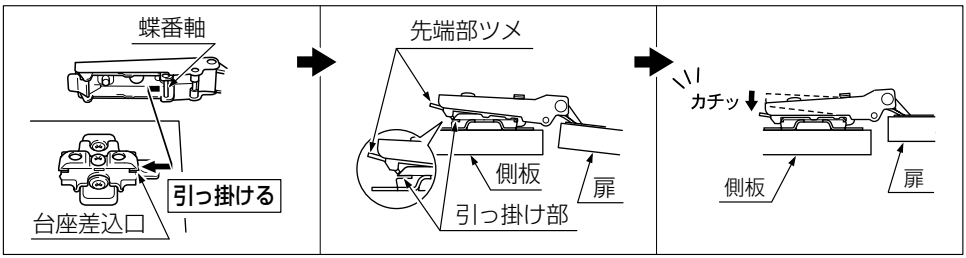
扉の外し方

スライド蝶番のつまみを矢印方向に引き、蝶番を持って取り外します。



扉の取付方

（1）扉側蝶番の軸を台座差込口に引っ掛けます。
（2）蝶番の先端部のツメを台座の引っ掛け部に合わせ、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



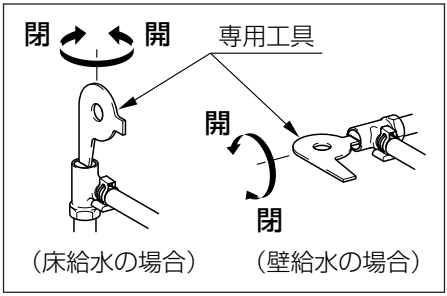
●長期間使用しない場合（本体内の水の汚れや凍結による破損の防止）

■長期間使用しない場合（準備）

●給水の停止および水抜き

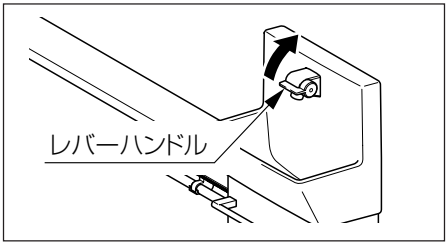
（1）止水栓を操作して、水栓金具への給水を止めます。（止水栓は底板の下にあります）

※このとき最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので、再使用時、元の位置に戻す必要があります。



（2）凍結の恐れがある地域では、凍結破損防止のため水栓ハンドルを操作して、水栓金具内の水を完全に抜きます。

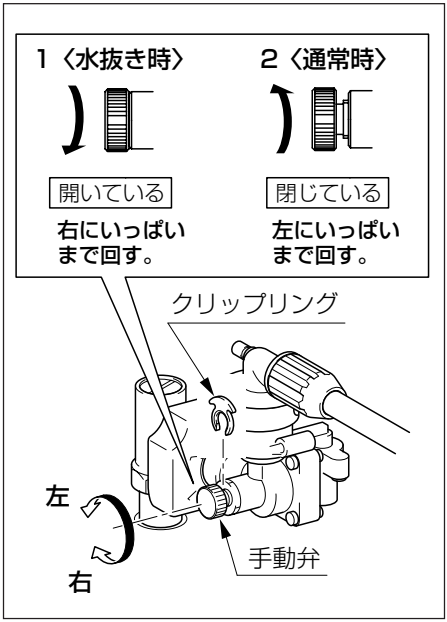
※水抜きは止水栓を開いた状態で配管水抜き後に行います。



［自動水栓の水抜き］

1．配管の水抜き栓を操作する。
2．電磁弁の手動弁に差し込まれているクリップリングを外す。
3．手動弁を右へいっぱい回して水抜きをする。
4．手動弁を左へいっぱい回してもとへ戻す。
5．クリップリングをもとの位置に差し込む。

※再通水直後は電磁弁内部の凍結により、自動水栓が作動しない場合があります。



注意

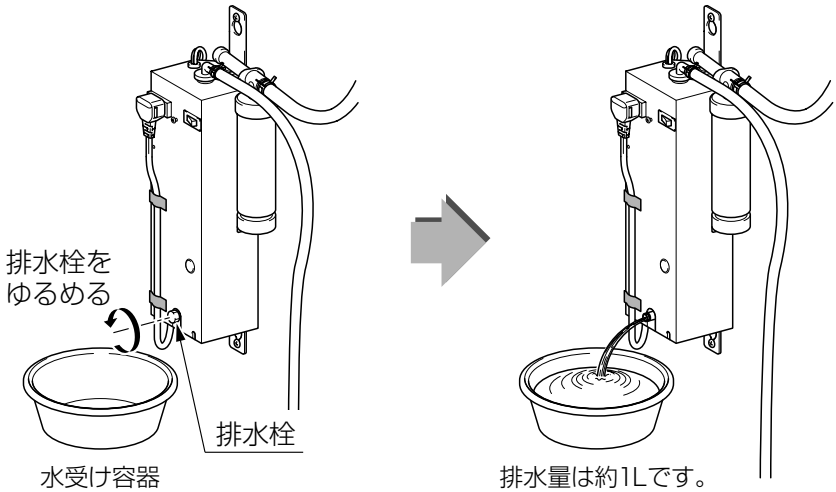
水抜き後は、必ず手動弁を左へいっぱい回してもとへ戻し、クリップリングを差し込んでください。

※右へ回した状態だと、使用時に水が流れっぱなしになります。

[温水自動水栓の水抜き]

施工完了から引き渡しまでに凍結の恐れがある場合は、止水栓を閉め、以下の手順で電気温水器内の水抜きを行ってください。

1．温水器の電源スイッチを「切」にした後、センサーに手をかざして、お湯が水になるまで流し続ける。
2．温水器の電源プラグをコンセントから抜く。
3．配管の水抜き栓を操作する。
4．手おけ、洗面器等の水受け容器を排水栓下に準備し、排水栓をゆっくりと左に回して取り外す。



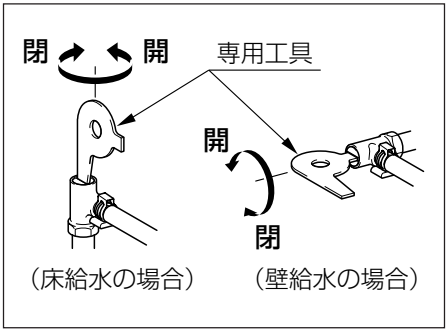
⚠注意

吐水口から出るお湯が、水になっていることを確認してから水抜きを行ってください。
※電源OFF後すぐに排水栓を開けると、高温のお湯によりヤケドをする恐れがあります。

5．水抜き後、排水栓を右にいっぱいまで回して締める。
6．電源プラグをコンセントに差し込む。
7．自動水栓の水抜きをする。作業方法は、前ページの自動水栓の水抜き２～５を参照する。

■再び使用する場合（試運転）

●止水栓を操作して水栓金具への給水を行います。（止水栓は底板の下にあります）
※マークしておいた元の位置に止水栓を調節してください。



●**ハンドル水栓の場合は、**ハンドルを全開にした状態にし、止水栓を回して吐出量が毎分2.5～4L程度になるように調節します。水が泡沫状になり始めたときが目安です。

●**自動水栓の場合は、**止水栓を全開にしてください。
※流量が適切でない場合は止水栓を調整してください。

●**温水自動水栓の場合**

⚠注意

空だき禁止

電気温水器内の水が空の場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。必ず満水にした後、電源スイッチを入れてください。
※機器の破損、ヤケドの恐れがあります。

1．止水栓を全開にする。
2．自動水栓の下に手をかざして、吐水が安定するまで水を出します。
3．電源スイッチを「入」にします。

電気温水器の操作方法は、電気温水器の取扱説明書をご覧ください。

●修理を依頼される前に　故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

部位	現　象	原　因	処　置	参照ページ
キャビネット	扉がガタついている。	・蝶番がゆるんでいる。 ・扉調節金具のねじがゆるんでいる。	・蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら調節します。 ・扉のずれを調節します。	22ページ
	扉の先端が上がっている。			
	扉の先端が下がっている。			
	扉と側板のすき間が上下で異なる。			
	扉の位置が上下異なる。			
水栓	吐出量が少ない。（水の勢いが弱い）	止水栓が十分開いていない。	止水栓を左に回して全開にします。	12ページ
		吐水口が詰まっている。	吐水口を掃除します。	19ページ
	水が止まらない。	・電磁弁の手動弁の開き ・パッキンの寿命や傷み	・電磁弁の手動弁を左へいっぱいまで回してください。 ・アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください。	24ページ 28ページ
温水自動水栓	お湯が出ない。	「電源スイッチ」が切れている。	電源スイッチを入れてください。	※
		家庭内のヒューズや漏電ブレーカーが切れている。	確認してください。	※
		過昇防止用安全装置が作動している。	電気温水器の取扱説明書に従って、復帰してください	※
排水口	排水しない、あるいは排水がスムーズではない。	排水口が詰まっている。	排水口を掃除します。	―
		排水管が詰まっている。	排水管を掃除します。	22ページ
排水管	漏水する。	排水管がしっかり締まっていない。	しっかり締めます。	―
		・パッキンの入れ忘れ。 ・パッキンが逆向きについている。	パッキンを正常な向きに入れます。	22ページ
		その他の理由	アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください。	28ページ

※温水自動水栓についての詳細は別途専用の取扱説明書をご覧ください。

上記の処置をしても直らないときは、コンセントプラグをぬいて、お取付店（または販売店）、またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

●アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（P.27）を参照して確認してください。

⚠注　意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※破損しケガをする恐れがあります。

2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（収納棚内側の品番ラベルをご確認ください。）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（保証書に記載のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

●仕様

■仕様表

スリム（壁付）

<table>
<tr><th colspan="2">タイプ
項目</th><th>手すりカウンター
キャビネットタイプ</th><th>カウンター
キャビネットタイプ</th><th>キャビネットタイプ</th><th>手すりカウンター
カラクリ
キャビネットタイプ</th></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法(mm)</td><td>1500サイズ：
1,500×200（カウンター奥行110）×1,332
1200サイズ：
1,200×200（カウンター奥行110）×1,332</td><td>1500サイズ：
1,500×200（カウンター奥行110）×970
1200サイズ：
1,200×200（カウンター奥行110）×970</td><td>306×200×970</td><td>1500サイズ：
1,500×200（カウンター奥行110）×1,332
1200サイズ：
1,200×200（カウンター奥行110）×1,332</td></tr>
<tr><td colspan="2">手洗器</td><td colspan="4">陶器製</td></tr>
<tr><td rowspan="5">水栓
（給水圧力・低格電源・定格消費電力）</td><td>ハンドル水栓</td><td colspan="4">給水圧力：0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧）
使用上限流量4L/min　※1</td></tr>
<tr><td>自動水栓</td><td colspan="4">定格電源AC100V、最大消費電力2.0W
給水圧力0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">温水
自動水栓</td><td colspan="4">［水栓金具］定格電源AC100V、定格消費電力2.0W、
給水圧力0.07MPa（流動圧）～0.75MPa（静止圧）</td></tr>
<tr><td colspan="4">［元止め式電気温水器］定格電源AC100V、定格消費電力350W、出湯温度36℃、
沸き上がり温度約65℃、沸き上がり時間約8分（15℃→65℃）、タンク容量0.8L</td></tr>
<tr><td colspan="4">その他装備：自動水栓接続専用コンセント×1口、膨張水処理機構</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャビネット本体</td><td colspan="4">木質材料（表面材：ウレタン化粧紙）</td></tr>
<tr><td colspan="2">扉</td><td colspan="4">木質材料（表面材：WA：PETシート、他：オレフィンシート）</td></tr>
<tr><td colspan="2">カウンター</td><td colspan="4">木質材料（表面材：メラミン板）</td></tr>
<tr><td colspan="2">手すり本体</td><td colspan="4">天然木製（表面：塗装）</td></tr>
<tr><td colspan="2">紙巻器</td><td colspan="4">樹脂製：WA色のみ</td></tr>
</table>

※1　使用上限流量以上で使用されますと、排水トラップ内の水が破封する恐れがあります。

スリム（埋込）

項目＼タイプ		手すりカウンター キャビネットタイプ	カウンター キャビネットタイプ	キャビネットタイプ	手すりカウンター カラクリ キャビネットタイプ
外形寸法(mm)		1500サイズ： 1,500×253（埋込部53mm、カウンター奥行110）×1,332 1200サイズ： 1,200×253（埋込部53mm、カウンター奥行110）×1,332	1500サイズ： 1,500×253（埋込部53mm、カウンター奥行110）×970 1200サイズ： 1,200×253（埋込部53mm、カウンター奥行110）×970	306×253 （埋込部53mm）×970	1500サイズ： 1,500×253（埋込部53mm、カウンター奥行110）×1,332 1200サイズ： 1,200×253（埋込部53mm、カウンター奥行110）×1,332
手洗器		陶器製			
水栓（給水圧力・低格電源・定格消費電力）	ハンドル水栓	給水圧力：0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧） 使用上限流量4L/min　※1			
	自動水栓	定格電源AC100V、最大消費電力2.0W 給水圧力0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧）			
	温水自動水栓	［水栓金具］定格電源AC100V、定格消費電力2.0W、 給水圧力0.07MPa（流動圧）～0.75MPa（静止圧）			
		［元止め式電気温水器］定格電源AC100V、定格消費電力350W、出湯温度36℃、 沸き上がり温度約65℃、沸き上がり時間約8分（15℃→65℃）、タンク容量0.8L			
		その他装備：自動水栓接続専用コンセント×1口、膨張水処理機構			
キャビネット本体		木質材料（表面材：ウレタン化粧紙）			
扉		木質材料（表面材：WA：PETシート、他：オレフィンシート）			
カウンター		木質材料（表面材：メラミン板）			
手すり本体		天然木製（表面：塗装）			
紙巻器		樹脂製：WA色のみ			

※1　使用上限流量以上で使用されますと、排水トラップ内の水が破封する恐れがあります。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：　コフレル スリム（壁付）・（埋込）　（品番：　　）			
保証期間	取付日より　2 ヶ年	取付日	年　月　日
お客さま	おなまえ	店名	
	おところ		
	おでんわ （　　）　ー	TEL　（　　）　ー	

無効

お客さまへ

・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはＬＩＸＩＬ修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1)用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5)建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6)経年変化使用に伴う外観上の現像(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
(8)小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
(9)天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障および損傷
(10)戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11)自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12)消耗品(パッキン)類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
(13)水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう）
(14)寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15)給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16)保証書の期限切れまたは提示がない場合
(17)本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

TEL　０１２０－１７９－４００
FAX　０１２０－１７９－４３０

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053
受付時間：平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターまで

TEL　０１２０－１７９－４１１
FAX　０１２０－１７９－４５６
受付時間：9:00～19:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

GSU-1208C（20061）